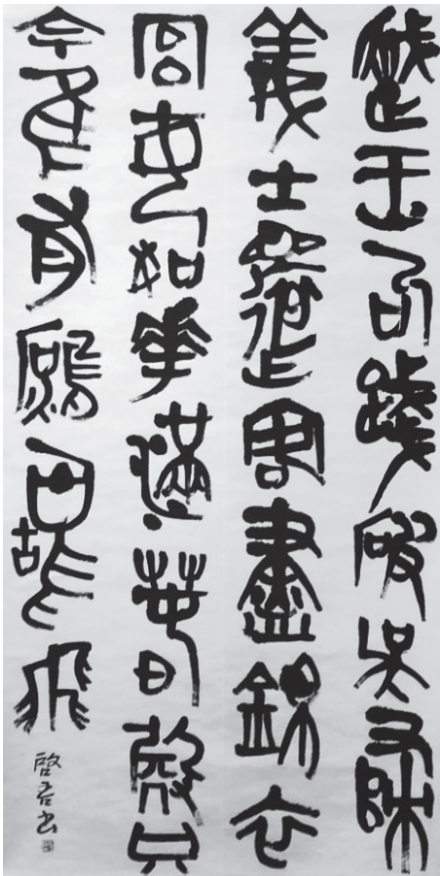


中央大学書道會

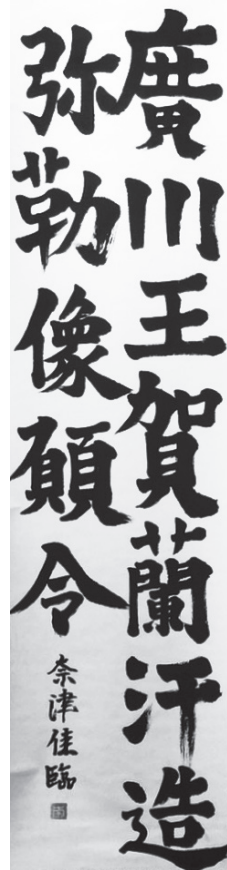
白門書展

2月23日から25日にかけて東京・パルテノン多摩にて白門書展が開かれました。書展は書道會における作品発表の場の一つです。お手本通りのきちりとしたものに限らず様々な書体や形式の作品があります。今回はそんな中から3つの作品を紹介します。また、4月7日まで多摩キャンパス図書館下ギャラリーにて新歓書展を開いているのでそちらにもお越しください。



◎創「越中懐古」
法学部3年 武田啓吾

篆書^{てんしよ}の金文です。紀元前千年前後に青銅(金)に刻まれた文字です。太さを均一に書くことを意識しています。



◎臨「賀蘭汗造像記」
文学部2年 礒崎奈津佳

初めて書いた造像記です。この作品を書くにあたり、書道とはどのようなものなのか考えることができ、更に努力しようと思えました。



◎創「三日月」
法学部3年 梶原彩加

この作品は2月の冬の冬に浮かぶ三日月を表現しました。儂^{はかな}さや柔らかさなどが表れていたらいいなと思います。

こんにちは、中央大学書道會です。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。中央大学には多くのサークルがあり、どこに入ろうか悩んでいる方もいるでしょう。今回はお正月のパフォーマンスと2月末に行われた書展をご紹介します。皆さんに書道會を知ってもらえるきっかけになればと思います。これからの大学生活をぜひ楽しんでください。

新春パフォーマンス



1月2日に、第8回イオンモール川口キッズフェス～新春編～書道&アートパフォーマンス発表会が行われ、書道會員7人が演者として参加してきました。

今回は、お正月らしい和の雰囲気表現できる三味線の曲を用いたり、子供向けにズートピアの曲を用いたりしました。大勢のお客さんがパフォーマンスを見に来てくださり、大成功に終わりました。

新歓パフォーマンスも行う予定ですのでぜひ見にいらしてください。

